

☆ 危機管理型水位計の紹介

新市場橋上流の無名橋に、河川管理者である京都府により「危機管理型水位計」が新設されました。危機管理型水位計の特徴は以下のとおりです。

- 危機管理型水位計は、洪水時のみの水位観測に特化することで、小型化や低コスト化が図られています。
- これにより、広範囲に多数の水位計設置が可能となりました。
- 水位情報は、通信ネットワークを介して河川管理者にデータ送信され、河川管理に活用される他、一般住民もパソコンやスマートホンでデータ閲覧することが出来ます。

以下にデータ閲覧方法を紹介します。

「京都府河川防災情報」で検索→「京都府河川防災情報」選択→「水位情報（危機管理型水位計含む）」選択→「危機管理型水位計」選択→「表示形式：現況表」
「地域選択：中丹西」選択→「次頁」選択→表の最上段に「中西-大谷川-2」「福知山市石原 1 丁目」「河川データ等」が表示されます。

＊ 平常時は 1 時間毎に観測水位が更新されますが、河川水位が観測開始水位 0.8m を超えると、10 分毎に観測水位が更新されます。

「危機管理型水位計」



